

区報 差出南

第 94 号

発行所
長野市差出南区

発行人
早川 孝一
高野 光昭
ブンゲイ印刷(有)

～あいさつで
明るい南区に～

60年に一度の丙午の「どんど焼き」

区の更なる発展を祈願

差出南区長 早川 孝一

令和8年1月11日、あやとり安茂里公園に多くの区民の皆さんの参加をいただき、区の恒例行事である「どんど焼き」が行われました。

例年同様、朝8時より、区と公民館の役員が中心となって準備を行いました。焼き一日となりました。



完成したどんど焼き



どんど焼きに点火

午前10時30分、開会式が始まり、代表者7人による点火が行われると、一気に火が燃え上がり、公園に大きな歓声が上がりました。時折、骨組みに使った青竹の節が破裂する音がしたり、書初めの紙が舞い上がったりと、どんど焼きらしい光景も見られました。

今年も来場者にはミカンを、子ども達にはお菓子も配りました。消防の方のお許しが出ると、持参のお餅や中にはポップコーンを火にかざす人達がまわりを囲んでいました。

今年も60年に一度の丙午の年。「火」と「勢い」を表す「丙午」のように、エネルギーに満ちた差出南区になればとの願いを込めて今年のどんど焼きも無事に終了となりました。

最後に、松飾りやお札を集めてくれ



区長挨拶



残火でお餅など思い思いのものを焼く

た育成会の子ども達、役員さん、萱の準備から組立設置作業、灰の片付けまで従事していただいた長寿会及び各種団体の皆さん、その他ご協力いただいた皆さんに心から感謝を申し上げます。

安茂里地区成人祝賀式

公民館長 小川 淳

令和8年1月3日(土)、安茂里公民館において、安茂里地区成人祝賀式が開催されました。当日は、雪かきの準備もしましたが、幸いにもお日様が顔を出し、良い天気に恵まれました。

祝賀式には、今年の安茂里地区の新成人234名のうち161名が集い、差出南区からは12名が参加しました。例年、新成人の中から選出された運営委員が式の企画や当日の司会進行等を行い、我々役員はそのサポートに徹します。自分たちでつくる祝賀式は一段と思い出深いものになることでしょう。

最初に、新成人の代表が「学んだ知識を仲間や周囲の人のために活かしていきたい」と20歳の決意を述べました。

裾花中学校恩師へのインタビュー

次に、裾花中学校時代の思い出の写真が、クラスごとにアルバム形式で上映され、当時の様子を見て、時折、大きな笑い声が起こっていました。最後は、裾花



中学校の恩師7人が登壇し、運営委員からインタビューを受ける形で「一番の思い出」や「クラスの印象」を語るとともに、「なりたい大人をイ

区からの報告

令和7年度土木事業の要望について

長野興農東側から裾花中学校前道路に至る道路のグリーンベルトの塗り直しを要望いたしました。市職員との現地調査を行い、同箇所のグリーンベルトがかなり薄くなっていること、また、途中カーブになっていく交差点の見通しが悪く、自動車の運転や歩行者の安全に支障があることから、速度抑制対策のためのドットラインも併せて設置する



昨年度要望して引き直された路側帯の白線

メージしながら進んでほしい。」など、新成人へ激励の言葉を送りました。参加された全ての方々の心に残る成人祝賀式となったの

こととなりました。令和8年度に実施予定です。

地域緑化事業について

本年度も地域緑化事業計画を提出し、10月にチューリップ、スイセン、フリージア等の球根と培土が納品されました。長寿会の皆さんにお願いして、11月7日にプランターに植えていただきました。きれいな花が咲くのが楽しみです。

令和7年度共同募金について

本年度の共同募金は、総額68,616円となりました。区民の皆様にご協力をいただき誠にありがとうございました。

第二回各種団体会議開催

2月8日、第二回各種団体会議(区三役とのヒヤリング)が開催されました。各団

ではないでしょうか。末筆ながら、新成人の皆さんの未来が、明るく希望に満ちたものでありますよう、心からお祈り申し上げます。

体より活動報告と決算見込み、新年度の事業計画・予算について意見交換が行われました。

各部の報告

公民館

出合いのひろば「文化祭」

白田 澄子

平成12年、地域の親睦と社会教育の向上を目指して公民館サークルが発足しました。当時は童謡、詩吟、ダンス、民舞踊、カラオケ、謡曲、書道、手描染色、写真、フラダンス、趣味の会、凧揚げの会から始まり、コミュニケーションを図る出合いを作る最大のクラブ活動でした。あれから25年。地域の中も高齢化が進み、存続できなくなった会が多くなり、ひとつ、ふたつと消えていく姿に心から寂しく思いました。こ



作品を見る来場者



展示作品



展示作品

一年を振り返って

副公民館長 武井 修一

今年度、公民館の行事に携わる機会をいただきました。初めてのことはばかりで、戸惑うこともありましたが様々な経験をすることができました。

納涼夏祭りは、区を挙げての一大イベントです。猛暑の中での開催でしたが、大勢の区民の皆さんが会場に足を運んでくれました。

その中で、お楽しみ抽選

会、趣味の会の皆さんによる

太鼓の演奏と踊りの披露、育成会によるビンゴゲームやおもちゃすくい、みこし保存会による大人・子供神輿の会場内巡業など多くの催しが行われました。また、長寿会による飲料の販売とラーメン・カレーの2台のキッチンカーを始め、綿あめ・クレープ・ポップコーン等々、多くの露店も出店され、大盛況のうちに終了となりました。ご参加いただいた皆様には、楽しいひと時をお過ごしいただけたの

ではないでしょうか。

十二月には、しめ縄作り教室を開催しました。講師のご指導のもと、わらの編み込みから、三段松と紙垂の飾り付けまで、参加者それぞれが行い、概ね一時間でしめ縄が完成しました。子供さんにもご参加いただき、貴重な体験の機会になったのではないかと思います。

環境や生活スタイルの変化

により、公民館活動も変化していくことは、やむを得ないことですが、昔から日本の伝

こ数年文化祭は手描き染色、趣味の会、特養コスモス苑の書道で会場を飾る展示物のみになってきましたが、今年はエコ商品や不用品をテーマに製作されました。エコクラフトで作った大小のかご、牛乳パックでミッキーマウスのかぶり物、クラフトでチャームな小物ホルダー、折り紙でキヤベツ畑や花、また染物では仏像や山頭火の絵を描き染めて掛け軸を作成、風神、雷神や桜の暖簾各種、陶芸、水彩画、川柳、俳句などバライテに富んだ繊細な能力が発揮

され、みごとな力作ぞろいに感嘆の声が上がりました。訪れた人に感動を与えました。またコスモス苑の書道は仲間同志共に学びながらすばらしい筆字に楽しいひとときが生きがいを見出されたことと思います。

一年かけて作った作品は300点ほど展示されましたが、どれも目を見張るものばかりでした。しかし、人口1,600人余りの大きい差出南の町でありながら文化祭に足を運んでくれる区民のみなさんが少ないことに毎年残念に思っています。文化祭は人と人が互いに情報交換し、知恵を出し合い、共有しながら良い作品が作られてきました。地域が支え合う、助け合う、尊重し合うことで協働力の再生が不可欠と考えています。長い間ご支援をいただきました。ありがとうございます。

しめ縄作り教室

公民館総務部長 大町 敦

差出南区民センターにて、しめ縄作り教室が開催されました。

当日は講師の木内泰明様に

育 成 会

育成会活動を

振り返って

育成会会長 丸山 里佐

保護者の皆様には、日頃より育成会活動に対し、深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

初めて育成会長を務めることとなり、至らぬ点多々あったかと存じますが、役員の皆様ならびに保護者の皆様のご支援により、無事に一年間の活動を終えることができました。

本年度の育成会活動を振り返りますと、子どもたちが安全かつ安心して活動できるよ

お越しいただきご指導いただきました。

しめ縄作りが初めての方向も丁寧に指導いただき、悪戦苦闘しながらも皆さん上手にしめ縄を完成させていました。

小さいお子さんも夢中になつてしめ縄作りに取り組んでいるのがとても印象的で伝統的なしめ縄作りを若い世代に

も伝えていくこうい

つた場をいつまでも続けていく事がとても大事な事だと改めて認識しました。

当日参加いただいた皆様、講師の方、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。



講師に教わる参加者

う、役員一同が協力しながら取り組むことができた一年であったと感じております。白線引きや地区パトロール、各種行事への参加を通して、育成会活動が地域の皆様のご支援のもと成り立っていることを改めて実感いたしました。

目に見えにくい場面でも、多くの方々子どもたちの安全や成長を温かく見守ってくださっていることを知り、大変心強く感じました。

また、夏祭りにつきましては、天候への不安がある中での開催となりましたが、多くの来場者にお越しいただき、盛況のうちに終えることができました。準備や運営には苦

ちが楽しむ姿を見ることができ、有意義な行事となりました。

さらに、しめ縄教室やどんど焼きなどの行事では、子どもたちが地域の皆様と直接交流する貴重な機会を持つことができました。これらの体験を通じて、子どもたちが地域の一員としての意識を深められたと感じております。

育成会活動を通して、保護者同士のつながりや協力し合うことの大切さを改めて認識する一年でもありました。皆様のご協力がなければ、これらの活動は成し得なかつたと思います。

動にご理解・ご参加くださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

今後とも、差出南区の子どもたちを温かく見守っていただけますよう、お願い申し上げます。

どんど焼き

星野 陽太

1月11日(日)、あやとり安茂里公園でどんど焼きがありました。朝、早くから正月飾りを集めました。

寒くあまり天気は良くなかつたけれど、静かで歩くのは

気持ちよかったです。公園にはお飾りやだるまがたくさん集まりました。

1番上に大きいだるまがあり、大きなやぐらがどんでん燃えていくところを近くで見れて楽しかったです。

火が落ち着いてから、マシユマロを焼きました。

焦げたり、上手く焼けたり、楽しくておいしかったです。

来年はじゃがいもも持って行きたいと思います。

天気も良くなつてよかったです。

来年のどんど焼きも楽しみです。



燃え上がるどんど焼き

長寿会

会長 大西 孝幸

今年度の後半の活動を報告させていただきます。

10月には地蔵温泉十福の湯の日帰りバス旅行を行いました。15名の参加をいただき、標高1,000メートル弱の地にある温泉で、自由時間、入浴後に誕生会、懇親会を行いました。美味しい料理をいただきながら近況を話したりして、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

は見られない皆様の表情を見せていただいたりして、これが旅行の楽しみの中の一つだと思えます。

年一回は旅行を行いたいのですが、送迎付き・日帰り・比較的リーズナブルな価格という事に合っているところを探すとなかなか見つかりません。価格の高いところはあります。それが悩みの種です。

11月には、区民センターで市の出前講座「早めに気づこう認知症 初期対応のポイント」

ト」を行いました。出前講座の数が多すぎてどれを選ぶか迷ってしまいます。講師の方の分かり易い身近な例を交えながらの話に引き込まれ、大いに勉強になりました。また、11月7日には、役員で緑化事業の一環としてチューリップ等の球根を庭のプランターに植えました。

12月は、スマイルボウリングとその後食事を兼ねて忘年会を行いました。新型コロナウイルスの感染が始まって以来、色々な所で飲食を制限

しているところが多いですが、当会は早めに注意しながら飲食を行っております。皆で同じものを飲んだり食べたりにするのは楽しい事です。

今、老人クラブの会員数は驚くほど減少しております。長野市老連の会員数は、昭和57年27,551人、平成7年6,287人に減少しております。安茂里老連では、平成7年4月に休会届を出し、隣の差出七五三の会(会員数78人)は平成8年4月に

休会届を出すことは確定的です。因みに、安茂里老連の会員数は、平成7年度で984人です。休会の理由の多くは役員の手がないことですが、そればかりではなく、会員増の難しさ、イベント会場への足のなさ、補助金のあり方、会の運営等が沢山有り、また、時代の流れ、生活様式の変化等があると思われるかと。同様の悩みは当会も全く同じです。

色々な問題がありながら月一回開催する当会の定例会には、決して多くはありませんが、会員数の30パーセントぐらいの方が参加いただいております。雨の日、雪の日、暑い日、寒い日、区民センターに来るのが大変な方がたくさんおります。

至らないところが多々あると思えますが、何とか「楽しい会」にしようと思えます。会員の皆様、何時ものようにセンターに足を運んでください。時間に余裕がある方、ぜひ当会を覗いてみてください。お待ちしております。



10月20日研修旅行 十福の湯



11月20日出前講座



12月19日スマイルボウリング



12月19日忘年会

部長退任の「あいらび」

一年を振り返って

1部部長 小島 英揮

昨年四月に1部の部長に就任してから、もうすぐ一年が過ぎようとしています。

今まで、役員を務めるという経験があまりなかったのが、早川区



1から8部の部長が集まって会議を開きます。区内の活動について相談します

長様を始め区の役員の皆様、各組長の皆様、1部の皆様のご指導とご協力があつたおかげで、部長としてここまで務めることができました。本当にありがとうございます。

配布物の手配や、会議など大変なことも多かつたですが、部長になったことで夏祭りやどんど焼きなどのイベントに積極的に参加できたことにより、区の子どもの楽しそうな姿を見られてやりがいを感じることができました。

この一年間、区のために少しでも力になれたことを嬉しく思います。

一年間、ありがとうございます。した。

部長を務めて

2部部長 山本 雅晃

まるで素人のまま部長になって一年、なんとか無事(?)任期を全うできそうです。区長さんを始めた役員の方々や前部長さんには大変お世話になりました。また、御協力いただいた組長さん、区民の皆さんもホントにありがとうございます。

これまで地域の仕事は妻に任せっぱなしにしています。今回やってみて、区の仕事は何も知らなかったことがよく分かり、反省の日々でもありました。これからは、一区民として協力させていただきたいと思います。

一年間ありがとうございます。した。

一年を通して

3部部長 酒井 志津子

区の活動の主だったところは、一斉清掃活動、夏祭り、

敬老会、どんど焼きです。一年を通して、その他にいろいろな活動があることを知りました。

まず、防犯パトロールです。区役員として防犯パトロールに参加しました。空き家や防犯灯など防犯上問題となる箇所や、水路、標識・路面標識や道路の毀損の有無などの確認などの地域の安全確認をしました。曲がったカーブミラーや路面標識の白線の薄れた箇所等を市役所へ連絡し、修理補修がされ、さらに歩行者通行帯の緑色が薄れた箇所についても要望を提出しているとのことでした。

公園と草刈りについてです。ボランティアによるそれぞれ隊が、一斉清掃活動以外でややとり公園や河川敷の草刈りをされているとのことでした。公園で夏に草刈りをしている方を見かけたことはありませんでした。また河川敷が1年に何回か草刈りされていることは気づいていましたが、それらがボランティアの方々によるものであることは知りませんでした。地域の美化活動は犯罪の抑止効果があると言

われていますが、ボランティアの方々によって保たれていることを知りました。感謝です。

犀川神社の寄付集めに参加しました。その寄付は、犀川神社の例大祭の花火の費用となっていて、みんなの花火であることを知りました。

部長を務めたことで、差出南区の安心安全で暮らしやすいまちであるために、区長始め差出南区役員・組長、各種団体の方々を支えているということを強く感じました。

一年間、ありがとうございます。した。

部長を務めて

4部部長 青沼 洋一

あつという間に一年が過ぎたような気がします。右も左も分からず、いきなり部長だなんて自分には無理だと思いました。

でも、会社の方の協力や組長さんや区長さんを始めとする役員の方々の助けもあって何とかできました。

大変だとは思いますが、次の部長さんには頑張つて地区を盛り上げていただきたいと



思います。一年間、お世話になりました。

部長を務めて

5 部部長 馬場 哲

部長という大役も残りわずかとなり、こうしてご挨拶をしていることに胸を撫で下しております。

春の区費徴収から始まり、一斉清掃、夏祭り、犀川神社の寄付集め等を行い、改めて区の仕事の大変さを知りました。また、組長さんを始め5部の皆様の忍耐強さにも感謝しております。

今後もこの経験を生かし区の皆様と共に住みよい差出南を支えていきたいと思えます。ありがとうございます。

部長を務めて

6 部部長 池田 正太郎

現役で仕事をしている私にとって、部長は当初難しいかなと不安がありました。多くの役員、各組長、区民の方々に助けていただきありがとうございます。

諸行事を進めていく中

自治会活動の大切さ、必要性が身にしみました。退任にあたりそれぞれの分野でご活躍、ご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

一年間貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

一年を振り返って

7 部部長 小林 秀和

部長役を引き受けてから、早いもので間もなく一年が経とうとしています。

思えばこの差出南区に引越してきてから十二年程になります。組長以外の役は何もやった事がありませんでした。そもそも、自分の居る7部が全部で何組あるのか、差出南区は何部で構成されている、7部はこのエリアなのかも知りませんでした。もう少し自分の住んでいる所に関心を持つても良いのではないかと思います。部長役を引き受けました。

これまで、地区の行事にはほとんど参加して来ませんでした。この一年を通じて様々な行事に関わる事ができました。今まで、何となく生

活していましたが、毎年、区長さんを始め、部長さん達が裏で色々な苦勞をされていたのだと気づかされる一年でした。

最後に、この一年ご支援、ご協力いただきました全ての方に、ありがとうございます。

部長を務めて

8 部部長 岡村 弘

この一年間、部長として活動して来られましたことは、大変貴重な経験になりました。

地域行事や環境美化など様々な取組みにおいて、各組長さん始め区民の皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。

地域づくりが、区民の皆さんひとりひとりの協力により、運営されていることを実感することができました。

これからも地域の一員として、地域活動を通じて協力して行けたらと思っています。ご協力ありがとうございます。

防災研修

11月15日(土)に、区役員を対象にした防災研修を行いました。「災害時、ドライバ―はどう生き残るか」を忘れない！東日本大震災が教えてくれたこと」のDVDを視聴しました。

東日本大震災は、今から15年前の2011年3月11日に発生したマグニチュード9、震度7を記録し、死者19,775人、行方不明者2,550人にもぼる巨大地震です。



東日本大震災津波の被害

車を運転中に地震が起きたときは、車を止めてラジオやテレビ、SNSで状況を確認し、車を降りて一時的に身の安全を図るのか、車を置いて非難するのを見極める必要があります。車を置いて非難する場合は、緊急車両の通行の妨げにならないように、車内にキーと連絡先を残して置くことが肝要です。また、いざという時のために、防災



防災研修風景

用品を備えておくことも必要です。備えあれば憂いなしです。

視聴した役員からは、「状況によっては、車で非難する

防犯パトロール

ことは危険だと感じた」「車を捨てるという覚悟も必要」「落ち着いた行動が大切だ」「車に閉じ込められた時の脱出器具を用意したい。」との

感想がありました。災害時に生き残るために、現場での適切な状況判断と臨機応変な対応に心がけましょう。

12月13日(土)に、安茂里

交番の生田巡查を始め、区役員、部長、公民館長等による防犯パトロールが行われました。4つの班に分かれて、区内をそれぞれ30分かけて交通安全面や防犯面について危険な箇所がないか見回りました。

パトロールにより、道路上や私有地の空き地への駐車違



パトロール中

反車が見受けられました。また、電柱などがなく防犯灯が設置できない区間がありました。最近の傾向としては、空

き地や空き家が増加しており、防犯上の懸念が報告されました。



生田巡查の講和

生田巡查からは、交通事故防止のため、運転車両の夜間の早めのライトの点灯と安全運転に努めるようご指導をいただきました。また、最近、安茂里地区では空き巣が連続で発生しているとのこと。家を空けるときはもちろん、夜寝ているときも貴重品は置いておかないように注意してくださいとお話しくださ

区民一人一人の力で、安心・安全な差出南区にしていきたいでしょう。

編集後記

本年度の最終号をお届けしました。区、公民館、育成会、長寿会の年度後半の活動と一年間、差出南区の活動を支えていただきました1部から8

部の部長からの寄稿を掲載しました。区民の皆様には、様々な区の活動にご参加、ご協力いただきました。ありがとうございました。令和8年度も引き続きよろしく願っています。

(M・T)